

■運慶 仏師集団を率い、平安の公家文化から鎌倉の武家文化に移る象徴となるように、仏像を写実的な様式に一新した。

うんけい

・・・・・・ 1148= この頃、生まれる(1145年頃説もある)。

保元の乱・・ 1156= 8歳 :

藤原基衡没・ 1157= 9歳 :

平治の乱・・ 1159=11歳 :

・・・・・・ 1164=16歳 : 京都の三十三間堂の「千体千手観音」のひとつに、この年の銘があるが、後世記入されたものとされる。

源頼政内昇殿1166=18歳 :

清盛太政大臣1167=19歳 :

法然浄土宗始1175=27歳 : 年記と銘から、\*現存最古の(奈良円成寺)「大日如来像」が最初の作品とされている。

・・・・・・ 1176=28歳 :

京の貴族と繋がり深い仏師集団「円派」「院派」が勢力を振るって、自ら属する「慶派」の場が無かったため、発展のため、東国に活路を見出し、

源氏一斉蜂起1180=32歳 :

・・・・・・ 1184=36歳 :

平氏滅亡・・ 1185=37歳 :

九条兼実摂政1186=38歳 : 北条時政発願による(伊豆韮山願成就院)「阿弥陀如来像」には、革新的ではないものの写実性がみられ、続いて制作した\*「不動明王及び二童子像」「毘沙門天像」は、武士の世界にふさわしいものになった。

奥州藤原滅亡1189=41歳 : 和田義盛発願による(横須賀浄楽寺)「阿弥陀三尊像」「不動明王像」「毘沙門天像」,

鎌倉幕府始・ 1192=44歳 : 鎌倉幕府発足後は、京に戻り、

・・・・・・ 1193=45歳 : 後白河法皇の菩提を弔うため、妙法院に、父康慶と「不動三尊」を造り、

東大寺再建完1195=47歳 : 東大寺の大仏再建にも参加して、

建久7年政変 1196=48歳 : 父康慶と「虚空蔵菩薩像」、四天王のうちの「増長天像」を制作。京都の神護寺中門に「二天像」「八大夜叉」をつくったが、いずれも焼失した。

・・・・・・ 1197=49歳 : この年制作したとみられる「高野山金峯山寺の「八大童子像」は、最初の傑作になった。

・・・・・・ 1198=50歳 : 東寺の南大門に、子の湛慶と、「金剛力士」を制作。

源頼朝没・ 1199=51歳 :

・・・・・・ 1201=53歳 : 湛慶と(三河国瀧山寺)「帝釈天立像」制作か、

・・・・・・ 1202=54歳 : 近衛基通のために、一尺六寸の白檀の「普賢菩薩像」を彫ったという。

執権政治始・ 1203=55歳 : 快慶とともに、一門の仏師を率いて、わずか2ヶ月で大作「(東大寺南大門)金剛力士像」を造立したとされるが、近年の解体修理によって出てきた奉籠品には、大仏師として、定覚、湛慶の名しか書かれていないことから、再検討の要がでてきている。

・・・・・・ 1208=60歳 : 以後3年かけて「奈良・興福寺北円堂の本尊「弥勒仏」,「無著・世親像」を制作し、

・・・・・・ 1211=63歳 :

方丈記・・ 1212=64歳 : \*完成。古今東西の肖像のなかでも、最高傑作になったといえよう

北条頼朝確立1213=65歳 : 京都・法勝寺九重塔のために、「大日如来」ほか五仏像と「四天王像」を制作、

・・・・・・ 1216=68歳 : 京都にいたまま、\_將軍源実朝のために、「釈迦如来像」を制作、

・・・・・・ 1218=70歳 : 執権北条義時のために、鎌倉の大倉新御堂の本尊「薬師如来像」を制作、

源実朝暗殺・ 1219=71歳 : \_非業の最期になった実朝の御堂の本尊になったという。さらに、子の実朝を追悼する北条政子の発願で、鎌倉・勝長寿院五仏堂の「五大明王」を制作、

愚管抄・・ 1220=72歳 :

承久の乱・・ 1221=73歳 :

運慶没・・ 1223=75歳 : \*京都・地蔵十輪院に、自らの発願で仏像群を造営し(六波羅蜜寺の「地蔵菩薩」はその本尊だったらしい)、

\_没した。